

会報

地域とつながるロータリークラブ



2019. 09. 11 第1325回例会 No. 30-09 2019. 09. 18発行

◎司会 SAA・親睦委員 初野 有人

◎開会点鐘 会長 入沢 修自

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」

ソングリーダー 菊池 敏

◎本日はお客様なし

◎会務報告 会長 入沢 修自

第三回の定例理事会での決議・協議事項

1. 次年度役員・理事の指名について。



クラブ細則第1条第1節に次年度役員・理事候補の指名委員会を理事会が定めるとあります。

例年、直近数年間の会長経験者が指名委員となっておりますが、現在いらっしゃる方もありますので、会長経験者について少し廻り、小泉博パスト会長を委員長とし、三田みよ子直前会長、田崎博実パスト会長、そしてクラブ創立まで廻り、遠藤二郎パスト会長、吉沢景洋パスト会長（現周年記念特命委員長）を指名しました。指名委員会は、年次総会の一ヶ月以上前の例会において、次年度役員・理事候補を指名せねばなりませんので、よろしくお願い致します。

2. 当クラブにこれまで多大な貢献を頂いております宮本誠会員より、9月末日をもってクラブを退会する旨、退会届が提出されまして理事会で慎重に協議致しました。宮本誠会員は当地区のガバナー補佐を勤められた方でもありますので、思うところはありますし、理事役員からも会務報告としての発表にはあまりに急ではないか、との意見もありましたが、ご本人の気持ちを尊重して退会届を正式に受理しましたので、報告致します。

◎幹事報告 幹事 田崎 博実

*配布：伊藤綾乃会員イニシエーションスピーチ資料

*回覧：ガバナー月信9月号

ガバナー要請として

「北部九州豪雨被災者救援金」募金箱



地区ジャズ同好会「SWING OF ROTARY」

1ST ジャムセッション開催パンフ

多摩稲城防犯協会市民防犯の集い

(10/10 パルテノン多摩)

生活安全だより

*他クラブ例会変更については

事務局に問合せ

【 委員会報告 】

◎出席報告 出席奨励委員会 菊池 敏

会員総数 29名

出席義務免除者 7名

出席者数 出席義務者 17名

出席免除者 7名

計 24名

出席率 24/29 = 82.76%

第1323回(8/28) 訂正出席率 85.71%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員 福岡 均

入沢 修自 伊藤綾乃会員イニシエーションスピーチ期待しています。

田崎 博実 前回例会は欠席してしまっただけで申し訳ないです。別に開き直っているわけではないですが。

伊藤 綾乃 本日スピーチ頑張らせていただきます。

大槻 一夫 伊藤さんイニシエーションスピーチ楽しみにしております。

萩生田政由 伊藤会員の卓話楽しみです。宜しくお願い致します。

伊澤ケイ子 伊藤さんイニシエーション楽しみです。

三田みよ子 伊藤さん卓話、頑張って！！

林田 敏誠 伊藤会員イニシエーション楽しみです。

大松 誠二 この暑さで、電気が無くて大変だ、電力会社頼むよ。

足立潤三郎 伊藤綾乃会員のイニシエーションスピーチ楽しみです。

守田 亨 台風大丈夫だったでしょうか？もうすぐ秋ですね。

鈴木 俊之 伊藤会員スピーチ楽しみにしています。

吉沢 洋景 いつまでも暑いですね 伊藤さんの
イニシエーションスピーチ楽しみです。
初野 有人 アメリカ同時多発テロから今日で18年
です。世界に平和を。
菊池 敏 伊藤様卓話楽しみにしています。
福岡 均 伊藤先生、イニシエーションスピーチ
楽しみにしています。
峯岸 忠 伊藤さんイニシエーションスピーチ
楽しみにしています。暑い日が続いて
います、お身体ご自愛下さい。
千葉の皆さん頑張って下さいね。
関岡 俊二 伊藤さんイニシエーションスピーチ
楽しみにしています。
森本 由美 伊藤会員 Initiation 期待しています。
遠藤 二郎 伊藤さんイニシエーション楽しみです。

本日の合計 ¥21,000 (累計 ¥191,003)
本日の「北部九州豪雨被災者救援金」 ¥25,000

◎卓話者紹介 プログラム委員長 宮本 誠
紹介は弁護士の田崎会員が適任ですので振ります。
田崎会員

伊藤先生は多摩に来て事務所開設まだ2年ですが、弁護士経験はもう12年の方です。どうして弁護士になったのですか？いろいろあって多摩に来て、皆の仲間になって・・・の辺りをじっくり話して頂きましょう。

◎卓話 伊藤綾乃会員イニシエーションスピーチ



ーご本人のレジュメよりー
*H30年3月多摩市で事務所開設。
*出身・大和市。家から丹沢の山並を、小学校の窓から富士山を眺めて育つ。高校まで湘南白百合学園、大学は東京大学法学部卒業。

*裁判所への道中、多摩モノレールで久しぶりに広い空・美しい富士山を見て、自分らしく働ける所に戻りたくて多摩で開業。

ー当日の話ー

元は音楽を目指し、母に厳しくピアノをやらされ、コンクールにも挑戦。でも全国大会までは届かず、中学の頃、あれ程厳しかった母に「まだピアノ？」と梯子を外され、くやしくて東大に受かってしまった。父が海外駐在が多く、小学校の頃シンガポールで生活。当時は子供も屋台などで働き、学校に行けるのが当たり前ではないというカルチャーショックを経験、英語を活かして開発援助など将来の道考えた。大学に入ったものの、本来、音楽や美術など芸術方面を向いていたので法学には疑問を持っていた。大学3～4年頃はあまり勉強もせずジャズピアノを弾いてバイトをしていた。法律家を目指したのは、「家裁の人」という漫画の主人公の裁判官に憧れたのがきっかけ。彼は普段はボーっとして役立たずと思われていますが、実は事件にかかわる人のことを深～く考えている人でした。母や祖母は、早く嫁に行って母親になるのを望み、母

と喧嘩して下宿、2年余りの司法浪人をしました。「家裁の人」のように、人の心に沿いながら人のため役に立ちたいと思っています。その頃、父が5年程シカゴ駐在で、司法研修の後ちょっと暇でシカゴでしばらくバイトをしました。ロータリーの創設者はシカゴの弁護士との事で多少の縁を感じています。平成19年6月に弁護士になりました。田崎さんと殆ど同時期です。最初の就職先は英語も活かせるので外資系法律事務所でした。不動産最盛期で忙しく、殆ど24時間勤務、机の下で寝たり時給もマックより安い程で、裁判所に行くようなこともなく、こんなことで良いのか？悩んでいた約1年間、リーマンショックで不動産は→X。辞めて日本の徒弟制度的事務所に3年程いました。それから夫と2人で麹町で開業、6年ほどやりました。その間、必ずしも弁護士でもない業務、開設業務・中間管理職業務・主婦業をこなす日々でした。子供が生まれて子育ての大切な時期、保育園も近くて好い環境として多摩に来ました。弁護士は人に任せられない、自分で働くしかない仕事です。昔は弁護士は敷居の高い存在でしたが、最近は「法テラス」など、市民が気軽に法的サービスを受けられます。弁護士も事案によってはかなり格安フィーに应ずることもあります。息子は「ママは働き過ぎ」と言って可哀想ですが「ママはアンパンマン、困った人がいたら行かなきゃネ」と説明しています。専門は何か？、内科医と同じで多種多様、でもやはり女性の相談者が多いです。内容もDVとか子供の取り合いとか、結構ハードな話があります。「家裁の人」のように、地域の相談者に寄り添って伴走できる弁護士でありたいと思っています。逆に保育所帰りの息子を相談者の方があやして頂くなど、私自身が地域の方に支えられています。

ー会場からの質問ー 田崎弁護士・内科医の田村先生 大松会員の質問がありましたが、マイク無し録音なしで内容は不明です。回答から想像して下さい。

◎伊藤さんの答え： *真実かどうか？公平か？

深い質問ですね。「家裁の人」も、あるとき同僚がポツリと言いました。「彼は自分のために嘘はつかない」と。嘘も方便？人の心を動かすための嘘はあり得る。私もnoblesse oblige というべきか、社会正義のために嘘も方便はあり得ます。ただ自分のための嘘はつかないことを信条とします。

*時間の使い方？自分で決めないと際限なく仕事となる。今年私は夏休みを取れませんでした。特に女性の場合緊急を要する場合もあって駆け込んで来られて、そのまま徹夜もありました。医者も同じですね。

*犯罪者に何故弁護人を？ 真実は何処に？皆が「黒」と思ってるから「黒」ではダメ。最後に決めるのは裁判官です。公正な手続きを踏む＝人権が守られる保障。手続保障・デュープロセスと言って、そういう制度設計になっているのです。「彼が無罪を主張するなら、それをカバーするのが弁護人の基本」というのが司法研修時代の教えでした。

◎御礼・閉会点鐘

会長 入沢 修自

(今週の担当 宮本 誠)